

各位



法人本部事務局 企画広報課
福岡県太宰府市石坂2丁目12-1

【筑紫女学園大学】

筑紫女学園大学の学生たちが、太宰府の秋祭り『古都の光』をPRします

平成29年9月23日（土）、25日（月）、太宰府市において第12回『古都の光』が開催されます。太宰府市内の幼稚園児・小学生たちが夏休みに制作した紙の灯籠1万個が市内を光で演出する祭りです。この祭りの集客をあげるために、本学の現代社会学部の学生たちが広報活動に携わっています。

広報活動を行うにあたり、昨年度の来場者の方々、古都の光写真コンテストグランプリ受賞者、太宰府天満宮参道で演奏を長年行っている本学フィルハーモニー管弦楽団に取材を行いました。また、千灯明を主催する太宰府天満宮（権禰直様）にも取材を行い、祭りの参加者側・運営側両方の視点を盛り込んだPRチラシを制作しました。（別紙）

今後も、ラジオ出演、チラシ散布などを通じて、積極的にPR活動を展開いたします。学生たちが地域の方々と共に祭りを盛り上げていく様子・社会貢献から学びを得る姿をぜひ取材してください。

■予定している広報活動

<ラジオ出演予定>

9月16日（土）12:30～ LOVE FM「NATURAL DRIVIN」内コーナー

「Good day Good trip!福岡都市圏レジャー・イベント情報」出演 ※学生2名出演予定

<チラシ散布>

9月16日（土）10:25～ 太宰府観光列車「旅人」の引継式@西鉄福岡（天神）駅 ※学生の参加予定無し

■ラジオ出演に関する学生への取材について

上記のラジオ出演の前後または大学内にて、個別に取材いただく時間を設定することも可能です。

【取材対応について】

○取材を希望される場合は、事前はこちらまでご連絡をお願いいたします。

法人本部 企画広報課 電話 092-925-9982（直通）、092-925-3511（代表）／FAX092-925-8319 担当：益永

○内容に関するお問い合わせは、直接こちらまでご連絡をお願いいたします。

大学 学生課（電話 092-925-3515 担当：伊地知）

【窓口時間】月～金 9:00～17:00

以上 ご案内申し上げます。

太宰府の光

中の人に、インタビューしてみました!!

編集後記

昨年に引き続き、こうしてまた古都の光の広報パンフレットをつくる機会を頂けて嬉しく思います。

今年是一年生が初めてながら、自ら取材を頑張ってくれました！太宰府市役所の方々をはじめ、たくさんの方の協力があった、昨年よりも良いものをつくることができたとおもいます。

このパンフレットをきっかけに、多くの方に太宰府古都の光の魅力が少しでも伝われば嬉しいです。

筑紫女学園大学 太宰府古都の光盛り上げ隊

第12回

太宰府 古都の光

むかしの光、いまの光

日時・会場

〔管ノ日〕水城跡・政庁跡・観世音寺エリア

観世音寺 戒壇院 太宰府政庁跡、水城跡(東門、西門)等

9月23日〔土祝〕 18時15分～21時

〔武ノ日〕門前町エリア

太宰府天満宮、九州国立博物館、参道、門前町等

9月25日〔月〕 18時15分～21時

※ 前日19時前のNHKの天気予報で午後の降水確率が60%以上の場合、中止の判断をします。

点灯式

9月25日〔月〕18時から九州国立博物館にて開催します。

主催

太宰府ブランド創造協議会

(太宰府観光協会 太宰府市商工会 太宰府天満宮 太宰府市)



その他、最新情報については太宰府市ホームページにて随時更新されています。

お問い合わせ

太宰府ブランド創造協議会事務局(観光推進課内)

TEL. 092・921・2121

最新情報をSNSページで発信しています！



Facebook
<https://www.facebook.com/dazaifu hikari10>



Instagram
[@kotonohikari](https://www.instagram.com/kotonohikari)

太宰府 古都の光に関わる 3人のキーパーソンにインタビュー！ それぞれの視点からの古都の光

フォトコンテスト 最優秀賞！ 受賞者が語る古都の光

第10回古都の光フォトコンテストで最優秀賞を受賞された鮎川陸浩さんにお話を聞きました。

鮎川さんが写真コンテストに応募したきっかけは、3〜4年前にカメラに興味を持ち始めた頃にたまたま古都の光を知ったことだそうです。

受賞作のタイトルは「古都への入り口」で、シャッタースピードを遅くして、人の残像を残した幻想的な作品です。実際よりも赤味を帯びさせて、幻想的な雰囲気を残したところが目どころだとのこと。

古都の光で受賞したことも嬉しかったが、受賞作がポスターに使わ

れたことで写真撮ることへのモチベーションが上がったと鮎川さんはおっしゃっていました。

古都の光フォトコンテストだけではなく、他のコンテストでも活躍されており、この9月には鮎川さんの写真も掲載された本が発売されます。



「死ぬまでに行きたい！世界の絶景！新日本編1」（三才ブックス）です。鮎川さんの写真が気に入られた方は是非手にとってみてください。また、インスタグラムの方にも素敵な写真が一杯アップされていますので、こちらも一度アクセスしてみてください。

鮎川さんのインスタグラム
@coltn_r

古都の光への思い 感謝と歴史を感じる空間

太宰府天満宮の総務部長、権禰直の新西靖斉さんにお話を伺いました。

今年で12回を迎える古都の光は九州国立博物館の開館を機に企画されました。太宰府のブランド力を高めるために太宰府天満宮、太宰府市商工会、太宰府観光協会、太宰府市によってブランド創造協議会が立ち上げられ、太宰府の歴史や情緒を感じられるイベントの立ち上げが検討されました。それが菅原道真公を祀る伝統行事である千灯明を軸として、平成17年から続けられている古都の光です。

太宰府天満宮門前町会会場では、千灯明に合わせて25日に開催されます。九州国立博物館で行われる点灯式では、太宰府天満宮から運んできた神聖な火種を使います。「古都の光」はまだ新しいイベントですが、千灯明という歴史ある神事と調和した、新しい伝統を目指しています。



新西さんは、古都の光を象徴する一言として「感謝」という言葉をあげておられました。いま自分が生かされていることを感じることでできる機会だとのこと。千灯明・古都の光に訪れる人々には、この行事を通じて、神様の存在と太宰府の良さを感じてもらいたい、灯明が人々の未来に繋がっていく希望の光になれば、と熱心に語っておられたのが印象的でした。

太宰府天満宮で 女子大生が演奏会！ 秋を感じる野外 クラシックコンサート

筑紫女学園大学のフィルハーモニー管弦楽団、広報の扇さんにお話を伺いました。

扇さんは筑紫女学園大学のフィルハーモニー管弦楽団に所属しており、これまでの古都の光でも演奏していました。

現在12名の団員で、定期演奏会や依頼演奏など1年を通して様々な活動をされています。その中でも古都の光で演奏することは、太宰府天満



宮にある「松屋」さんの協力の元行っており、団員にとっても思い入れのある演奏会だそうです。

また古都の光では、学生だけでなくOGや教員の方々も演奏に参加されます。

これまでに演奏を聞いてくれた方の中には「また演奏を聴きたい」という声もあり、フィルハーモニー管弦楽団の演奏には、団員の思いや楽しさが聴いている人に伝わっているのだろうなどお話を聞いて感じました。

今年の演奏のイメージは、「秋を感じさせる」とのことでした。

演奏をきっかけに「古都の光の古き良き魅力を知ってもらい、オーケストラの面白さを知ってもらえるよう、この夏も練習が行われています。

扇さんは「立ち止まって聴いてみて、良かったと思ってもらえるよう頑張りたいと思います！」と意気込みを語ってくれました。

演奏される曲は、誰もが知っている曲で、多くの人に楽しんでもらえるようなラインナップになるそうです。筑紫女学園大学のフィルハーモニー管弦楽団が送る、太宰府天満宮×オーケストラを是非楽しみにして下さい！

